

2026年12月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 8月12日

上場会社名 株式会社バリューソフトホールディングス 上場取引所 東
コード番号 455A URL https://www.valuesofthd.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒井 雅美
問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部 部長 (氏名)滝沢 克彦 (TEL)03-6453-0303
中間発行情報提出予定日 2026年 9月30日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期中間期の連結業績 (2026年 1月 1日～2026年 6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	771	10.8	23	△27.6	28	△30.7	18	△33.1
2025年12月期中間期	696	—	31	—	40	—	27	—

(注) 包括利益 2026年12月期中間期 18百万円 (△33.1%) 2025年12月期中間期 27百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2026年12月期中間期	185	74	—	—
2025年12月期中間期	277	59	—	—

- (注) 1. 当社は、2025年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2025年 9月 2日付けで普通株式 1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		
2026年12月期中間期	563		281		50.0
2025年12月期	567		263		46.4

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 281百万円 2025年12月期 263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末		合計
	円	銭	円 銭
	0.00		0.00
2025年12月期	0.00		0.00
2026年12月期	0.00		0.00
2026年12月期(予想)			17.09

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年 1月 1日～2026年12月31日) (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,582	8.8	76	15.6	86	9.0	56	△1.9	569.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	100,000株	2025年12月期	100,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	—	2025年12月期	—
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	100,000株	2025年12月期中間期	100,000株

(注) 当社は、2025年9月2日付けで普通株式1株につき40株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページの「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における情報サービス業界を取り巻く事業環境は、生成AIをはじめとする先端技術の進展、デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速、クラウドサービスの普及及びサイバーセキュリティ対策の高度化を背景として、企業のIT投資は引き続き堅調に推移いたしました。また、業務システムの刷新やクラウド環境への移行、デジタル技術を活用した業務改革への需要が幅広い業種において拡大し、情報サービス需要は総じて堅調に推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループは、ソフトウェア開発を中核として、システムインテグレーション、ITインフラ構築、システムエンジニアリングサービス（SES）等の情報サービスを提供し、顧客企業の情報化投資及びDX推進を支援してまいりました。また、企画・設計・開発から運用・保守まで一貫したサービスを提供することで、多様化・高度化する顧客ニーズに対応し、品質と信頼性を重視したシステム開発に取り組んでまいりました。

さらに、生成AIをはじめとする先端技術の活用を推進するとともに、開発体制の強化、品質及び生産性の向上、人材育成並びにグループ各社の連携強化によるシナジー創出に取り組み、持続的な成長基盤の強化に努めてまいりました。

今後も、市場環境や技術動向の変化を的確に捉え、高品質な情報サービスの提供を通じて、顧客企業の持続的な成長に貢献するとともに、当社グループの企業価値の向上に努めてまいります。

このような結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、受注環境が良好に推移したことから、売上高771,911千円（前年同期比10.8%増）となったものの、売上原価及び販売費及び一般管理費の増加により、営業利益23,079千円（前年同期比27.6%減）、経常利益28,014千円（前年同期比30.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益18,573千円（前年同期比33.1%減）となりました。

なお、当社グループは、ソリューション開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

(2) 財務状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,200千円減少し、563,822千円となりました。これは主に、仕掛品が1,550千円、繰延税金資産が2,594千円増加したものの、現金及び預金が6,736千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ21,774千円減少し、281,972千円となりました。これは主に、買掛金が3,751千円増加したものの、長期借入金が9,996千円、未払費用が4,229千円、未払法人税等が3,554千円、未払消費税等が5,196千円、預り金が4,261千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ18,573千円増加し、281,849千円となりました。これは、利益剰余金が18,573千円増加したものであります。

② キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6,736千円減少し、367,593千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な増減要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、3,259千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益28,014千円、仕入債務の増加額3,751千円などの資金増加要因があった一方で、法人税等の支払額13,806千円、未払消費税等の減少額5,196千円、預り金の減少額4,261千円、未払費用の減少額4,229千円などの資金減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において重要な投資活動がなかったため投資活動による資金の変動はありません。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、9,996千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、ガバナンス体制の強化及び技術者採用の強化に伴う費用の増加を見込んでいるものの、受注環境は引き続き堅調に推移しており、売上高は計画どおり進捗する見込みであります。また、既存顧客との取引深耕による高付加価値案件の受注拡大、技術者の適正配置及び稼働率の向上、案件ごとの採算管理の徹底並びに販売費及び一般管理費の抑制を推進することにより、収益性の向上を図ってまいります。

これらのことから、2026年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想からの修正はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	374,329	367,593
売掛金	142,699	143,691
仕掛品	669	2,220
その他	6,614	5,784
流動資産合計	524,313	519,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,586	3,425
工具、器具及び備品（純額）	1,245	1,016
有形固定資産合計	4,832	4,441
無形固定資産		
その他	193	193
無形固定資産合計	193	193
投資その他の資産		
投資有価証券	10,250	10,250
差入保証金	21,473	21,093
繰延税金資産	5,959	8,554
投資その他の資産合計	37,683	39,898
固定資産合計	42,709	44,533
資産合計	567,022	563,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,586	79,337
1年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払費用	83,841	79,611
未払法人税等	15,491	11,936
未払消費税等	28,808	23,611
預り金	20,487	16,225
賞与引当金	11,271	11,829
その他	8,245	9,400
流動負債合計	263,723	251,944
固定負債		
長期借入金	40,024	30,028
固定負債合計	40,024	30,028
負債合計	303,747	281,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	163,275	181,849
株主資本合計	263,275	281,849
純資産合計	263,275	281,849
負債純資産合計	567,022	563,822

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2026年1月1日 至2026年6月30日)
売上高	696,661	771,911
売上原価	540,911	612,428
売上総利益	155,750	159,482
販売費及び一般管理費	123,875	136,403
営業利益	31,874	23,079
営業外収益		
受取利息	105	285
受取配当金	270	270
助成金収入	8,495	4,133
その他	87	571
営業外収益合計	8,958	5,261
営業外費用		
支払利息	406	326
営業外費用合計	406	326
経常利益	40,427	28,014
税金等調整前中間純利益	40,427	28,014
法人税、住民税及び事業税	12,730	12,035
法人税等調整額	△62	△2,594
法人税等合計	12,667	9,441
中間純利益	27,759	18,573
親会社株主に帰属する中間純利益	27,759	18,573

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2026年1月1日 至2026年6月30日)
中間純利益	27,759	18,573
その他の包括利益	—	—
中間包括利益	27,759	18,573
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,759	18,573
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2026年1月1日 至2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	40,427	28,014
減価償却費	1,167	390
受取利息及び受取配当金	△375	△555
支払利息	406	326
助成金収入	△8,495	△4,133
売上債権の増減額(△は増加)	987	△991
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,459	△1,550
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,848	3,751
未払費用の増減額(△は減少)	△3,256	△4,229
預り金の増減額(△は減少)	△2,462	△4,261
賞与引当金の増減額(△は減少)	30	558
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,192	△5,196
その他	3,494	580
小計	18,421	12,702
利息及び配当金の受取額	375	555
利息の支払額	△406	△326
助成金の受取額	8,495	4,133
法人税等の支払額	△11,473	△13,806
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,412	3,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,311	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	—
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△9,996	△9,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,996	△9,996
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,105	△6,736
現金及び現金同等物の期首残高	319,412	374,329
現金及び現金同等物の中間期末残高	323,517	367,593

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ソリューション開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。